

# 第10回ちゅら眼科懇話会

謹啓

時下、先生方におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は弊社製品に関しましては格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さてこの度、下記のテーマにて、学術講演会を開催させて頂く運びとなりました。

つきましては、万障のお繰り合わせの上、何卒、ご参加賜りますようご案内申し上げます。

謹白

## 日時

2018年12月22日(土)  
19:10~20:00

## 会場

ダブルツリー by ヒルトン那覇首里城  
沖縄県那覇市首里山川町1-132-1  
TEL:098-886-5454

## 製品紹介 19:10-19:20

HOYA株式会社 メディカル事業部

『HOYA Vivinex multiSert について』

## 特別講演 19:20-20:00

座長 古泉 英貴 先生 (琉球大学大学院医学研究科 眼科学講座 教授)

演者 山口 剛史 先生 (東京歯科大学市川総合病院 眼科学教室 講師)

## 演題 『角膜失明疾患への眼光学の応用と角膜移植予後改善にむけた研究』

角膜形状解析や波面収差解析は、円錐角膜やドライアイなど透明前眼部疾患の軽微な変化の検出を可能にした。しかし、角膜混濁など重症な失明疾患には応用されてこなかった。我々は新しい光学解析法を開発し、「網膜における画像診断の標準化」のように画像診断を角膜疾患にも普及させるべく、角膜ジストロフィ、感染後瘢痕、外傷後、移植後、Stevens-Johnson症候群など角膜の重症疾患を調べてきた。一連の研究から、網膜疾患のように、角膜疾患にも特徴的な画像所見が存在し、視機能と密接に関連することがわかってきた。もう一つ重要な課題は「角膜移植後になぜ角膜内皮細胞が減るのか」である。この疑問も、前房水の解析から虹彩因子と前房環境が角膜内皮細胞生存に重要なことがわかってきた。本講演では、最新の臨床研究の成果を紹介し、眼光学・移植免疫の立場から様々な角膜疾患の未来医療について考えてみたい。

## 略歴

平成14年 慶應義塾大学医学部卒業  
平成18年 独立行政法人国立病院機構霞ヶ浦医療センター眼科医長  
平成19年 慶應義塾大学医学部 眼科学教室 助手  
平成21年 東京歯科大学市川総合病院 眼科学教室 助教  
平成23年 ハーバード大学スケペンス眼研究所 研究員  
平成25年 東京歯科大学市川総合病院 眼科学教室 助教  
平成26年 東京歯科大学市川総合病院 眼科学教室 講師

\* 講演会終了後に懇親会を予定しております。

\* 誠に申し訳ございませんが、本会におきましては旅費の負担が出来ません事をご了承下さい。

主催 HOYA株式会社 メディカル事業部